

【別紙】

1. CO₂排出量削減目標(連結, Scope1, 2)の今回目標と従来目標との比較

RE100

CLIMATE GROUP



今回目標

2030年 全エネルギー 46.2%削減※
(基準年度 全事業 2019年)
再エネ比率50%

2050年 実質0
再エネ比率100%

※従来目標の基準年度比で55.5%削減に相当

従来目標

2030年 電力使用 30%削減※
(基準年度 鉄道事業 2010年、
不動産事業その他 2015年)

2050年 実質0
再エネ比率100%

※2020年度実績で電力使用27.6%削減を達成済み

2. 環境と調和する街のコンセプト

「コンセプト」

なにげない日々が、未来をうごかす

「想い」

- 過去・現在・未来は連なり、未来は今日の暮らしが積み重なって生まれる。
- わたしたちの行動や街の存在が、未来を期待に満ちたものへとうごかす。
- 環境に良い行動を特別な負担感なく選択できる日常が、すべての人にあることを目指したい。

3. 日本初、鉄軌道全路線を再生可能エネルギー由来の電力100%にて運行

環境ビジョンで目指す誰もが環境貢献しやすいまちづくりの実現に向けて、4月1日(金)より、東急電鉄の鉄軌道全路線を再生可能エネルギー由来の電力100%※にて運行します。当社グループでもっとも多い年間約8億人のお客さまが利用する電車をCO₂フリーな移動手段とすることで、多くの方に環境貢献を身近に感じていただき、利用促進とともに脱炭素社会に貢献していきます。

※RE100に対応したトラッキング付き非化石証書の活用による

(関連リリース: <https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-2.html>)

4. DBJー対話型サステナビリティ・リンク・ローンでの資金調達

株式会社日本政策投資銀行(以下、DBJ)から、DBJー対話型サステナビリティ・リンク・ローンでの資金調達を3月31日(木)より開始することが決定しました。当社は、貸付人であるDBJと対話を通じて当社のサステナビリティ経営高度化に資する適切なKPI(当社連結グループにおけるCO₂排出量削減率)と目標(2030年CO₂排出量46.2%削減)を設定し、借入条件と連動させることで、サステナブル経営を推進します。

(関連リリース: <https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=20220328-3.html>)

5. 参考資料

別紙「環境ビジョン2030 ～なにげない日々が、未来をうごかす～」

■SDGsへの貢献について

当社グループは、「美しい生活環境の創造」を目指し、公共交通などの生活インフラ整備と一体となったサステナブルな「まちづくり」に取り組み、事業成長と社会課題解決を両立させ、SDGsに貢献します。

また、当社グループは「脱炭素・循環型社会」をサステナブル重要テーマ(マテリアリティ)としており、本リリースの取り組みで特に貢献するSDGsは右記「脱炭素・循環型社会」に相当します。

